

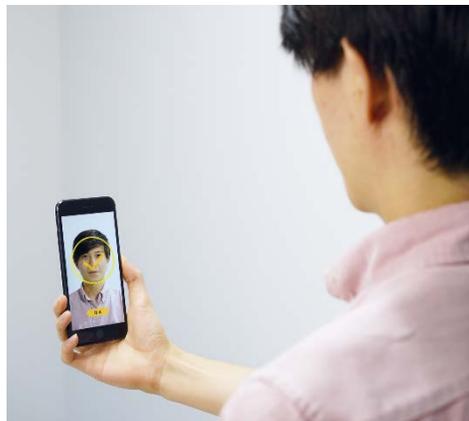
【研究開発の名称】大規模・高速指紋認証技術「Liquid」(2014年度採択課題)

■ 開発の経緯・概要

- 従来の生体認証技術では、画像の座標軸の一致で認証を行っていた。例えば顔であれば目頭や鼻頭といった特異的な部分の座標軸の位置情報の数値を逐一照合していたため、登録者が1,000人であれば1人を特定するために1から1,000までの数値を全部参照する必要があった。
- そこで、当社独自の画像解析技術とビッグデータ解析技術(AI解析)を基に、生体情報の効率的なデータベース管理及びクラウド上での照合方法を開発し、従来の数千倍程度の速度で個人を特定を目指す。

■ 現状の成果

- 2015年12月、長崎県佐世保市所在のテーマパーク「ハウステンボス」において、生体認証決済サービスの導入
- 2018年1月、三菱地所株式会社が新本社に移転するにあたり、ユーザーの銀行口座と連携した指紋認証決済を導入
- 住信SBIネット銀行にオンラインで本人確認を完結する「LIQUID eKYC」導入



■ 会社概要

	設立時 2013年12月	採択時 2015年1月	現在 2018年10月
資本金	10百万円	10百万円	1,365百万円
従業員数	0人	0人	35人

■ I-Challenge!活用による成果

【PoCの成果】

- 従来からの生体認証×ビッグデータ解析・機械学習を用いた技術により、実際に瞬時で高速で認証を行った。PoCにより、実際にサービス化の実現が可能となり、その他のサービス導入を実現につながった。

【I-Challenge! ここがすごい!】

- 最先端の技術に対する国としてのサポートを行うため、基礎研究にしっかりと時間を割ける。初期の何もない売上ゼロの段階で、しっかりと基礎研究を行えたことが将来的なグロースに繋がったため、成長の基盤を提供してくれた。

【事業化支援機関からの支援内容】

【事業支援機関】(株)東京大学エッジキャピタル

- 会社の成長に不可欠なリクルーティングのサポート、事業計画の立案サポートに加えて、セールスサポート、ファイナンス面のリード、政府機関へのご提言や大手企業へのご紹介を支援していただいた。

(注)採択企業名・事業化支援機関名は採択時のもの。